

令和4年10月25日  
株式会社日本政策金融公庫  
秋田支店

## 秋田銀行×日本政策金融公庫

若者が林業に魅かれて起業  
～秋田銀行と日本政策金融公庫が創業支援で連携～

コロナ禍において、秋田銀行と日本政策金融公庫（以下：日本公庫という）秋田支店が連携支援した創業者を紹介いたします。令和4年8月に設立された「合同会社秋田林業」様です。

## ○仕事を通じて地域資源の魅力を発信 ～地域課題の解決も～

猪股代表は約10年前に林業に出会い、秋田県の豊かな自然を心身で実感し、林業そして秋田県が大好きになりました。「秋田NGM」「緑の雇用指導員」等の講習を受講し専門知識を習得することに加えて、勤務経験を通して高所作業車・刈り払い機・高性能林業機・小型移動式クレーン・整地不整地運搬車等のオペレーションなど多くの専門技術を習得しました。

斯業経験で得た人脈等から販路と素材の確保に見通しが立ちました。また、最新のGPS、GISを使用できる等必要な作業の殆どを社内のスタッフで賄うことが可能となりました。

猪股代表は起業した一つの目的を次のように語ります

『由利本荘市は全国有数の山林所有地で、また、秋田県には日本を代表する「秋田杉」があります。しかし、多くの秋田県民は「秋田杉」を認知していても、林業の魅力や重要性を知らないと感じます。そして、今現在、秋田県で素材性産業を起業しようとする人も殆どいないと思います。また、現状の林業には、若者の担い手不足・低賃金など様々な課題があります。私が林業を目的とした会社を経営し、「林業ってかっこいい！素晴らしい！楽しい！」と若者に感じてもらい、林業の担い手不足を解消していきたいと考え、起業を決意しました。』

## ○ポストコロナの事業者支援 ～日本公庫と地域金融機関がシナジー発揮～

ポストコロナに向けて事業者援を推進していくためには、様々な局面において、日本公庫と地域金融機関が連携を強化していくことが重要です。そこで秋田県内においても、日本公庫と地域金融機関は勉強会を開催することを通じて目線合わせを行うとともに、お互いの持つ強みを活かし、融資時から融資後まで、総合的な連携支援態勢の構築を進めています。

本事例も猪股代表から資金計画の相談をうけた秋田銀行が、日本公庫へ取次ぎを行い、結果として両機関の協調融資スキームである「みらいへの道しるべ」を適用し、融資を実行いたしました。

お客さまの同意があれば、融資時に金融機関相互で情報共有することが可能となり、調査が効率化され、より迅速かつタイムリーな応需が可能になります。

## &lt;融資先の概要&gt;

企業名	合同会社秋田林業	代表者	猪股 奨大
住所	由利本荘市中梵天 45-16	業種	林業

## &lt;お問い合わせ先&gt;

日本政策金融公庫 秋田支店 国民生活事業 TEL：018-832-5641（担当：石黒、小嶋）  
住所：秋田県秋田市中通5丁目1-51 北都ビルディング1F